

ふと、たあがちやん

城西小学校 一年 さいとう ゆりか

「ふとってるねえ。」

わたしは、あかちやんのころ、ひまさえあ
ればごはんをほしがるところでした。おなかです
いてなかないように、でかけるときは、ラッ
プにくるんだちいさなおにぎりをもっていっ
たそうです。こんぶあい、たまごふりかけ、
じゃけ、いろんなあじのおにぎりです。

しんをみると、かおはまるまるとして
いて、おなからはパンパンです。

「これ、あたし？」

とてさびしくりました。うまれたときから
おっぱいもたくさんのみました。おがあさん
は、おねえちやんとちがってよくたべるので
しんばいしていました。でも、いっばいたべておおきくなっただ
しは、とてさけんこうでインフルエンザが、
はやってもかかりませんでした。ようちえん
のそつえんしぎで、かいきんしょうをもらう

ことができました。しんぱいされるほど、ご
はんをたべていたのに、わたしはどんどんせ
がのびて、ほそくなっ ていきました。ふしぎ
です。

りまは、しょうがくいちねんせい。まいあ
とあるいてとうこうしています。たくさんあ
るいて、おなががすくので、きゅうしよくが
まちどおしいです。

「おおまいね。いちねんせいなの？」

いろんなひとに、おどろかれます。すこして
れくさいけれど、うれしくなります。わたし
は、ふと、たあかちゃんから、げんざないち
ねんせいになりました。いまでもごはんがだ
いすきです。